東京リハビリニュース

発行 / 社会福祉法人 東京リハビリ協会
東京都立川市富士見町 7-33-3　TEL042-521-1234　FAX042-521-1203
E-mail　ma01@trg.jp　　ホームページ　http://www.trg.jp/

2021年10月
NO.180

季節の足音…

まん丸のかわいらしいコキアも真っ赤に紅葉

今号の主な記事

令和3年度前期決算 収支差額1億3百万円・・・・1～2
観賞魚リース事業 累計契約 2,000 台達成！・・・・・3
あわび今年も髙島屋様からご注文・・・・・・・・・・3
シリーズ 28 苦言 甘言　・・・・・・・・・・・4～5
聖火リレー採火式実施・・・・・・・・・・・・・・・5
事業所だより・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

令和3年度
前期決算

収入7億8千3百万円
支出6億8千万円
収支差額1億3百万円

理事長　緑川清美

地元東京で57年ぶりに開催されたオリンピック・パラリンピックが、先月9月5日に閉幕した。

新型コロナウイルス禍により、一年間の延期を経て初の無観客開催となったが、約1万5千人のアスリートが世界から集まり、メダルをかけて戦った。

大会については、賛否両論等様々な意見があったが、大会中にアスリートの懸命な姿勢や信念に基づいた主張等を通し「スポーツの力や新たな意義」を感じた事、また選手の活躍や輝く表情に終始、心を動かされ、気が付くと夢中で声援を送った30日間であった。

弊会も57年前の東京大会と同様に、選手村のリネンクリーニングの仕事を行った。また選手村で使用した寝具リネンを、弊会で行うウエス事業にご寄贈戴いた事、パラリンピック聖火リレーの採火式へ参加する等、地元開催での新たな関わりを持つ事で、一人ひとりの想いを胸に歴史を繋いだ。

前期実績について

令和3年度（2021年）前期（4月～9月）が終了した。

今年度は、新型コロナウイルス禍の影響が及ぶ事を予想した予算を編成し、利用者工賃等人件費の水準は維持した上で、就労支援事業収入増、経費の節約等により更なる収入の改善を図り、3年後の創業60周年に向け営業努力を継続している。

前期の実績は前年同期比84％増、約4千7百万円の増加、約13％の利益率を確保し、前年度と比較し「増収増益」で終わる事が出来た。

《収入部門》

要因は、主力の病院・福祉施設寝具、リネン事業に於いて都内公立等病院はコロナ病床を増床し、一般病

（次項へ）

床を減少している事により、いまだ収入減の影響は大きいものの、4月より約600床の新規を獲得した事で減少分をカバーし100%で推移した。

またホテルリネン事業は、オリンピック・パラリンピック需要の期待は出来なかったが、各ホテル独自の宿泊キャンペーン企画等により稼働が復調し、前年同期比19%増と収入に大きく貢献した。

その他リネン・クリーニング事業については、4年前より紙への転換等、切り替えを行い縮小している布ダイアパー部門が前年同期比64%減と大きく減少した為、その他部門全体を8%減に押し下げた。

観賞魚リース事業は、新人営業員が1日20件以上の新規開拓営業を継続している事や、新たなDM手法が的中した事等により、昨年と比較し新規契約台数が7台から15台に倍増し6%の増収となった。

あわび事業については、東京を始めとする関東近圏においては、年度スタート時から緊急事態宣言が継続され、販売元である飲食業のランチのみ営業や休業等の影響から、前年同期比30%減と厳しい状況が続いている。

9月に入り年末おせちへの需要が徐々に高まり、10月に入ると緊急事態宣言解除も重なり、再開したお客様や新規先の開拓も積極的に進める等、後期は挽回に期待したい。

ウエス事業については、資材の仕入先を新たに開拓、また関係先から定期的に資材を提供していただく等、常時在庫を保有した結果、前年同期比12%の増収に繋がった。

障害福祉サービス等事業収入についても、コロナ禍における支援対策の方法として、立川、日の出の4名のサービス管理責任者により、毎月オンライン会議を実施し、定員増対策や通所率アップ、本人・家族等への支援策を協議した結果、前年同期比8%増の成果を出した。

《支出部門》

支出については、昨年より大きく増加した費用が、リネン事業で使用する重油単価の大幅アップで燃料費は64%の増加、またコロナ禍における営業強化によるDM等宣伝企画費は55%の増加であったが、その他費用について生産効率の向上やコストの見直し等により、支出全体で前年同期比4%を減少させた。

これらの結果、前期収入783、379千円に対し、支出680、218千円で、事業活動収支差額は103、160千円であり、前期は結果のみで判断すると堅調な推移とも読み取れるが、いつ終息するか判らないコロナ感染症やいつどこで発生するか判らない自然災害、一部を除き停滞している世界経済に安心は出来ない。

加えて就労支援事業収入は、コロナの影響を大きく受けた昨年度と比較しても、わずか1%の伸びであり、更なる営業努力が必至である。また支出についても、前期に行う予定であった修繕費や資材仕入等の未執行分についてを、今必要なものかを再度判断し、後期補正に組み直す必要がある。

《後期に向けて》

後期に向けては、担当予算のある幹部と営業は、後期の個人予算を100%遂行する為に変化する社会情勢を把握し、再度、後期営業企画を立て直し、実行の為のスケジュールを見直す事である。

生産部門は、前期分の生産数値から光熱水費、原材料、人員配置等が適正であるかを、所長・部門担当者で再確認する必要がある。受注量が減少しているのに無駄な費用が発生していないか、工場内で電気・水・油等、付けっ放しによる使い放題になっていないか等のチェックが欠かせない。

利用者処遇の向上

前期は事業計画に基づき、地域生活移行の推進により3名の方がグループホームへ入居した。

自宅から地域へ移行する利用者の方々が気持ち良く日々の生活を過ごす為に、職員は地域生活に必要な挨拶等社会的マナー等について、支援を継続してほしい。

併せて工賃向上の推進について、今年度B型3%アップの目標達成には、工賃が減少していたら原因は何かを、即確認する為の関係者による支給実績の定期的チェックを実行し対応してほしい。

私達は、リハビリの経営理念である**『障害があっても同年齢の市民と同等の生活環境を作る事を支援する』**の遂行と、未来を見据え、動きを止めてはならない。

後期も共に力を合わせてがんばりましょう。

おめでとうございます！
全国社会就労センター協議会より永年勤続表彰受賞

日の出事業所の小熊憲次職員が令和３年度全国社会就労センター協議会より20年以上勤務をしている従事者を対象とする「永年勤続表彰」を受賞した。昨年度に続き、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、表彰式は中止となってしまったが、長年にわたり社会福祉に従事してきた功績が評価された。これまでの経験と知識を、今後の利用者支援や職員育成にも活かしてもらいたい。

（管理部 総務課 主任 中村恵輔）

小熊憲次職員

あわび養殖事業

あわび今年も高島屋様からご注文！

昨年、年末のおせち料理用に高島屋様から東京産あわびのご注文を多数戴き、セットされた商品の中心に採用されましたが、今年も９月早々に多数のご注文を戴きました。

感謝申し上げます。

ご注文はお早めに住井まで

昨年は従事者の皆さんから百万円を超えるご注文を戴きました。

昨年同様、おせち料理は数量限定となっておりますので、お早めに注文をお願いします。

尚、窓口は住井が担当しております。

（就労事業部 魚介部門 科長 住井信裕）

高島屋様のおせち料理カタログより

観賞魚リース事業

累計契約2,000台 累計売上額36億円

高齢者用布おむつリネンの売上額が、紙おむつの進捗で減少傾向に入り、最大売上額が１９８８年の年商５億４、４００万円から、目に見えて下落傾向に陥り、カバーするために複数の科目導入に挑戦し、その中の一つが他の同業者が手がけていなかった、人間の背丈程ある大型水槽を使用し、国内には生息していない、海外からの熱帯魚を定期的に直輸入すると共に、定期的なメンテナンスをサービスした事が好評を呼び、今年６月末に累計売上台数２千台（売上額36億２千万円）を、海老名幼稚園様（神奈川県）において達成し、弊会の全従事者に紅白饅頭を配り、お祝いを挙行した。

（就労事業部 魚介部門 科長 住井信裕）

2,000台を記念したお祝いの集合写真

リネン材の譲渡契約に成功

代表取締役会長兼社長 高岡本州様の協力を得る

製作、シーツ等、約13万枚を無償で戴く～

Series シリーズ 28

苦言甘言

経営推進室担当理事 斎藤 公生
福祉支援課 課長 小川美智子

オリパラ選手村リネン類のクリーニング業務取得

弊会の前身の無認可作業所が開設されたのが1964年（昭和39年）3月。同年の秋に、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、オリンピック選手村のクリーニング業務の入札は、残念ながら前年に終わっていた（当時は両大会の組織委員会が、別々であった）。

しかし、パラリンピック選手村の洗濯業者は、まだ決定していない事が分かり、飛び込み営業で窓口を捜し、入札に漕ぎ着けた結果、最終的に弊会に決定した。

あれから、57年と言う長い時間が経過したが、今回のオリパラの組織は一本化され、選手村も18千人収容と巨大化していた。

驚いた事は、たった1回の洗濯製品の納品で、弊会が日常行っているホテルや病院等のリネン洗濯品の納品金額の、5倍平均の30万円以上の売上が続き、お陰さまで、600万円の利益を得た。従事者の夏、冬、春の賞与に相当額の上乗せが出来る予定。

1964年東京オリパラ選手村
米国選手と26才の斎藤理事

選手が使用したリネンのオリパラ終了後の譲渡契約を獲得

オリパラに関する二つ目の契約は、選手村で使用したリネン材を、大会閉会後に譲渡してもらう営業であった。

弊会の重度障害者対象の科目の一つが「ウエス加工」である。

コロナ禍によってホテル宿泊者や飲食業の顧客の激減により、ウエス加工の材料入手が激減し、昨年よりオリパラに焦点を絞り情報収集を行っていた。

今年に入り、アイススケートの浅田真央さん等のコマーシャルでお馴染みの、株式会社エアウィーヴ（代表取締役会長兼社長 高岡本州様）が東京2020オフィシャル寝具パートナーとして、18千人分のマットレスや寝具類を本大会に無償提供している情報を得て、早速、半ば飛び込み状態で営業を展開した結果、リネン材については、地方に分村している選手村を除き、ほぼ100%を無償で提供戴く事が決定した。

寄贈される数量は

○シーツ　約91、200枚
○枕カバー　約45、600枚
計約136、800枚

ウエスに加工すると、約110万枚相当になる製品を、無償で戴くことが決定し、9月8日に、新しくなったオリンピック委員会のビルで、多くのマスコミが取材に来ている中「選手村寝具寄贈式」が挙行され、高岡本州会長兼社長から、弊会の緑川に直接寄贈をいただいた。

寄贈式　左から高岡会長　緑川　一人おいて金メダルを獲った阿部兄弟

ウエスを科目にしている全国12の施設にリネン材を寄贈

株式会社エアウィーヴ様から寄

東京2020オリンピック パラリンピック 選手村の

株式会社 エアウィーヴ

～リネン材再利用で工業用ウエスの

ご寄贈戴いたシーツ類の一部 洗濯後の保管風景

贈戴いた、リネン材の一部を全国のウエスを科目に取り入れ、弊会と同様、材料集めに苦慮している左記の就労継続支援Ｂ型施設に寄贈。

・わかふじ寮（北海道）
・セルプさっぽろ（北海道）
・空知の風（北海道）
・秋田ワークセンター（秋田県）
・第2春日園（埼玉県）
・あかつき授産所（東京都）
・ハートピア湘南（神奈川県）
・厚生会館セルプ（愛知県）
・みのり共同作業所（愛知県）
・ワークセンターひびき（大阪府）
・セルプ藤山（山口県）
・諫早ワークス（長崎県）（敬称略）

多くの施設からお礼の電話や書信をいただき、その旨を株式会社エアウィーヴ様にお伝えした。

粘り強い営業開拓で利用者の生活向上 全国平均4.3倍の所得をもっと

この度の、東京2020オリパラに対しては、幅広く時間を掛けて的確な「情報収集」と「粘り強い営業」が、良い結果に結びつく事を改めて教えられた。現在、弊会の135名のＢ型施設利用者の賃金は、厚労省発出の令和元年資料では、施設数約11、200ヶ所、利用者数約32万人に支給されている平均賃金の4.3倍（令和3年度）になっているが、まだまだその上を目指し、新しい市場開拓にネットを張りめぐらそう。

2015年に国連で採択された誰一人取り残されない社会作りの為の「持続可能な開発目標」実現を

まず、弊会の利用者を社会から遊離させる事を、避ける方向性に取り組もう。

SDGs（エスディージーズ）って何？

最近広く使われるようになったSDGs（サステイナブル・デヴェロップメント・ゴールズ）。2015年の国際サミットで採択され、全世界で取り組んでいる。日本語では「持続可能な開発目標」と訳され「地球上の誰一人取り残さない」事を誓い、貧困、飢餓、福祉教育、医療等17項目の目標を立てている。正に障害者福祉に携わっている我々に与えられた重要な課題である。

東京2020パラリンピック 聖火リレー採火式実施

4月に立川市オリンピック・パラリンピック準備室より立川事業所に採火依頼があり、8月19日立川事業所2号館前広場において実施された。

当日は晴天に恵まれ、職員手作りのTシャツを着用し、ファイヤースターターで火種を作り、立川・日の出両事業所の利用者代表数名が職員のお手製のトーチを掲げ、片手にひまわりの花を持った大勢の利用者が両側に並ぶ花道の中を採火台に向かい、無事着火した。

翌20日に立川市役所で行われた採火式に理事長が招待され、利用者代表の白川さん、本事業を担当した小川が付き添いで出席し、最終的に東京2020パラリンピックの火として、9月5日の閉会式まで会場で灯っていた。

（小川）

採火式の様子

事業所だより

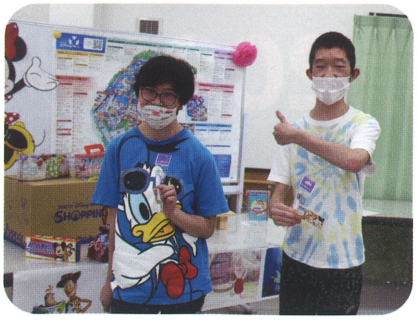
赤ちゃん誕生おめでとうございます

日の出事業所蓋盛雅子職員に第２子の男の子雷惟（らい）君誕生、おめでとうございます。

立川事業所

おうちDEディズニーリゾート

令和３年６月26日（土）に皆が大好きなディズニーランド・シーを疑似体験できるイベント『おうちDEディズニーリゾート』を実施した。



ディズニーグッズを手に喜びの表情

ディズニーの人気は高く、いつものイベントよりも多くの利用者さんが参加した。期待を裏切らないように東京リハビリ協会専用のオリジナル入場チケットを作成、装飾もディズニー一色にし、入場者にはディズニーランドで配布されているマップも渡した。イベントではスクリーンでディズニーパレードや人気アトラクションの紹介、ディズニーで食べられる肉料理やスイーツ、お土産コーナーの映像やホテルミラコスタの内装を見た。他にもディズニークイズ大会を行ったりして楽しい時間を過ごした。お土産は30種類50品目のディズニーグッズを用意し、大抽選会では声を出さず拍手で盛り上がった。

（福祉支援課　主任　小池達耶）

日の出事業所

バーチャルおもしろ工場見学

令和３年７月10日（土）、コロナ禍でも楽しく、一度に様々な工場に行った気分になれるバーチャルおもしろ工場見学を開催した。

トヨタ工場見学でクイズに挑戦！

見学先は、ロッテ・キューピー・ネスレ日本・カルビー・アサヒ飲料・トヨタ自動車などみんなが知っている有名な工場がズラリ!!

コアラのマーチが完成して出荷されるまでや車が完成するまでなど普段何気なく手にしているものが、どのようにして出来ているのかを映像やクイズで楽しく知ることが出来て「こんな風に出来ているんだ～！」「すごいね！」等様々な感動の声が聞こえてきた。

帰りには見学を行った工場で作られている、コアラのマーチ・マヨネーズ・キットカット・ポテトチップス・十六茶が詰められた、ボリュームたっぷりのお土産が配られ楽しそうな笑顔で締めくくられた。

ボリュームたっぷりのおみやげをご用意☆彡

（福祉支援課　主任　大沼琴美）

HAPPY BIRTHDAY 10月 11月

立川事業所

稲葉　光　さん
上田　直樹　さん
笠原　喜一　さん
川西健太郎　さん
佐藤　友美　さん
須野原　明　さん
玉越　修　さん
内藤　陸　さん
中村　暁夫　さん
平山　東秀　さん
松浦　優美　さん
宮﨑こずえ　さん

日の出事業所

石﨑　憲治　さん
大野　隆代　さん
岡部　浩子　さん
北久保　亮　さん
中村　晴海　さん
長谷川明日香　さん
樋口　裕二　さん
平井　景子　さん
望月　裕樹　さん
渡邊　達哉　さん

立川事業所

大槻　晶子　さん
小倉　利洋　さん
尾崎真理子　さん
坂入　俊浩　さん
富樫　弘道　さん
松田　和也　さん
三浦貴美枝　さん

日の出事業所

秋山　佳輝　さん
岡　幾乃　さん
岡村　昌美　さん
加藤　友紀　さん
粉川　幸二　さん
清水　信宏　さん
高井　史雄　さん
武田　浩子　さん
友野　浩司　さん
浜島　洋　さん
藤井　梨花　さん
吉田　龍翔　さん
渡邊　利秋　さん

◆編集後記◆

ご意見や特集希望等、ございましたらお気軽にお問合せ下さい。（高橋章）